



日田市 農業振興 ビジョン

令和5年度取組内容

目次

1. 農業振興ビジョンの施策体系と推進委員会の役割・・・P2
2. 主要事業の各施策への反映状況について・・・P3～P14

ビジョンの施策体系と推進委員会の役割

日田市農業振興ビジョン 推進委員会

進捗状況の検証・意見集約

- ☑推進委員会では、各種施策の推進に関連する市の主要事業や取組を挙げ、各施策にどう反映しているかの説明を行います。
- ☑また、4つの重点施策については、実現に向けた現在の進捗状況の説明を行います。
- ☑これらの取組内容について、委員の皆様からご意見をいただき、進捗状況の検証と今後の取組の改善に繋がります。

基本目標	基本方向 (目指すべき方向性)	基本施策	主要施策	ページ
日田市らしい足腰の強い農業と活気ある農村社会をつくる	『稼ぐ農業』を目指す	I 日田の強みをいかす	1 果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大	…P21
			2 地域の特性をいかした作物の推進	…P23
			3 産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備	…P24
			4 足腰の強い畜産業の振興	…P25
			5 内水面資源の維持と活用	…P26
		II 創意工夫で販路拡大を目指す	1 生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進	…P27
	2 百貨店・量販店・外食産業等のニーズに応じた販売企画・商品開発の推進	…P28		
	3 地域ブランドづくりとPR(各種フェアの開催等)	…P29		
	4 直売所を活用した地産地消・地産外消の推進	…P30		
	5 農商工親の連携・6次産業化への展開	…P31		
	6 農産物の輸出に向けた取組	…P32		
	『活躍する農業』を目指す	III 元気な担い手を育てる	1 担い手の明確化と農地の集約	…P33
			2 集落営農の育成・法人化	…P34
			3 新規就農者や農業後継者の確保・育成	…P35
			4 企業の農業参入等の推進	…P36
			5 包括的な農業支援体制の強化	…P36
	IV 使える農地を増やす	1 生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新	…P37	
		2 優良農地の保全と有効活用	…P38	
		3 耕作放棄地の解消	…P39	
	『感動する農業』を目指す	V やさしい農業を目指す	1 安心・安全な環境保全型農業の推進	…P40
2 地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現			…P41	
3 土壌診断・分析の実施			…P42	
VI 魅力ある農村を築く	1 美しい田園景観づくりの推進	…P43		
	2 鳥獣害に強い集落づくりの推進	…P44		
	3 グリーンツーリズムの推進	…P45		
	4 健やかな食生活の実現に向けた食育の推進	…P46		
重点施策		① 担い手をサポートする体制の整備	…P47	
		② 日田の風土に合った循環型農業の実現	…P48	
		③ 時代のニーズに応える日田ブランドの確立	…P49	
		④ 稼ぐ農業のための生産基盤の見直し	…P50	

各施策の推進に関連する事業の取組内容等について

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

※R4年度は決算額、5年度は予算額(単位:千円)
【重点施策】=ビジョンの重点施策事業 以降同様

①果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大 (ビジョンP21~22)

R4 ・ おおいた園芸産地づくり支援事業 11,014 * R3 事業名変更

⇒園芸産地の更なる拡大による農業産出額の向上を図り、競争力のある園芸産地づくりを目指すため、栽培施設等の整備に対して支援を行った。

◎県事業 梨・白ねぎ・高糖度かんしょ・にんにく：機械導入、梨：棚新設・張替、リース料補助
白ねぎ：資材導入

・ 園芸産地づくり計画策定・推進事業 770 * R3事業名変更

⇒園芸産地づくり計画を作成した園芸品目の推進に要する調査、研修会、実証等に要する経費対して支援を行った。

◎県事業 梨：土壌水分管理・省力効果実証、ピーマン：土壌水分管理・日焼果発生率低減実証
白ねぎ：肥培管理実証

R5 ・ おおいた園芸産地づくり支援事業 90,701 * 推進品目23,234、日田梨選果場改修67,467

⇒意欲ある園芸農業者の生産拡大、所得向上を目的に市が推進する品目に対して園芸産地づくり計画を策定し、必要となる栽培施設・機械等の整備や導入に対して支援を行う。

◎県事業：梨（棚張・リース料補助）、ピーマン（施設整備）、白ねぎ（機械・資材導入）

◎県事業：日田梨選果場のシステムの更新並びに内部品位センサーの改修

・ 園芸産地づくり計画策定・推進事業 800

⇒「園芸団地づくり計画（梨、白ねぎ、ピーマン）」の推進に要する調査、機械等の導入実証、販売戦略の策定、研修会、試作等に要する経費の支援を行う。

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

②地域の特性をいかした作物の推進（ビジョンP23）

③産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備（ビジョンP24）

R4 ・**新**津江地域産地づくり実証事業 1,548

⇒津江地域で生産された農産物の新しい流通や販路を構築するための実証試験を行うことで、地域が一体となって津江地域の農業を支援する仕組みづくりを検証した。

◎上津江・中津江：デマンドバスを活用した貨客混載

◎前津江：地域の集出荷・販売促進を担う組織化に向けた実証試験

◎上津江・中津江：加工用トウガラシの試験栽培、前津江：有機野菜づくり研修会他



<貨客混載実証試験>

・**新**JRを活用した貨客混載実証実験

⇒JR久大本線における新しい流通を構築するため、「つばめマルシェ@博多」で販売する果物や野菜の荷物輸送サービスの実証実験を行った。

◎配送区間：日田駅・うきは駅→博多駅、輸送品目：日田梨、無農薬野菜、加工品

R5 ・**産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業 (H21~) 9,560**

⇒中山間地域の特色をいかした産直野菜等の生産拡大、通年出荷体制を支援し農家所得の向上につなげる。

◎新設パイプハウスの整備に要する経費の導入に要する資材費（2/3以内）

遊休パイプハウスの補修に要する資材費（2/3以内）

管理機の導入に要する経費（1/2以内）

灌水施設の導入に要する資材費（1/2以内）

・**津江地域産地づくり実証事業 2,000**

⇒津江地域で生産された農産物の新しい流通や販路を構築するための実証実験を行うことで津江地域の農業を支援する仕組みづくりの検証を行う。

◎津江地域野菜集出荷事業（前津江地区の野菜集出荷の構築、有機農業、販路開拓の取組に対する支援）

◎津江地域農業振興事業（上中津江地区の推進品目の振興、地域で支える仕組みづくり等の定例会の開催）

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

④足腰の強い畜産業の振興（ビジョンP25）

R4 ・ **新**畜産飼料高騰特別支援事業 32,359

⇒コロナ禍の原油価格・物価の高騰は、飼料や原材料の多くを輸入に依存する畜産農家の経営にも打撃を与えていることから、飼料購入費の一部を補助することで経営安定と事業継続を図った。

◎配合飼料・粗飼料購入費に対する支援

R5 ・ **肉用牛生産基盤拡大支援事業**（H27～） 11,353

⇒『おおいた和牛』の安定供給に向けた生産基盤を強化し、安全・安心で美味しい『おおいた和牛』のブランドの確立を図るため、繁殖農家の増頭を伴う導入及び自家保留に対して支援を行う。

・ **酪農支援対策施設整備事業**（H23～） 13,900

⇒酪農の経営基盤強化を図るため、酪農家が行う省力化や暑熱対策など飼養環境の向上を目指した施設整備等の取り組みに対して支援を行う。

・ **肉用牛大規模経営体育成事業**（R5） 9,150

⇒持続的かつ安定的な肉用牛経営を目指し、省力化や生産規模拡大、中核的大規模経営体の育成を図るため、施設整備等の取り組みに対して支援を行う。

・ **酪畜産飼料高騰特別支援事業** 37,854

⇒コロナ禍の原油価格・物価の高騰は、飼料や原材料の多くを輸入に依存する畜産農家の経営にも打撃を与えていることから、飼料購入費の一部を補助することで経営安定と事業継続を図る。

⑤内水面資源の維持と活用（ビジョンP26）

R5 ・ **内水面資源維持事業**（H17以前～） 4,120

⇒市内河川における主要水産資源の維持・増殖を図るため、漁協が行う稚魚放流等を支援する。

◎日田漁協…アユの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流

◎津江漁協…ヤマメの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

- ①生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進（ビジョンP27）
- ②百貨店、量販店、外食産業等のニーズに応じた販売企画、商品開発の推進（ビジョンP28）
- ③地域ブランドづくりとPR（ビジョンP29）

R4 ● 農産物販路開拓事業 4,979 【重点施策3】 * R3事業を見直し

⇒百貨店等に訪れる顧客をターゲットに高品質な農産物のプロモーションを展開し、新たな販路開拓を行った。

- ◎販路開拓：梨・西瓜・ぶどうの高級ギフト開発、カタログギフト等の販促活動
- ◎情報発信：地元写真家・カメラマン、若手生産者と連携した情報誌等の作成



<市場キャンペーン>
(大分市公設地方卸売場)

● 新 日田産地パワーアップ事業 12,591 【重点施策3】 * 基本施策Ⅰ-①に関連

⇒主要農産物の生産振興と魅力向上を図るため、スマート農業技術の推進、輸出拡大や所得の向上に向けて、生産部会や農業団体等が取り組む機械の導入に対して支援し、生産基盤の強化を図った。また、感染症の収束に合わせた反転攻勢に向けて、大分市場をターゲットに主要農産物の魅力アップに向けた取組を行った。

- ◎主要農産物(梨・西瓜・ぶどう・梅・すもも)生産基盤チャレンジ事業(補助率1/2、100万円上限)
- ◎メディアや量販店、市場、全農おおいた等と連携した旬入りフェアの開催

R5 ● 農産物販路開拓事業6,220 【重点施策3】

⇒「西瓜」、「梨」、「ぶどう」を主力に、高級ギフトの開発、旬入りフェアやメディアプロモーションを展開し、日田産農産物の販路開拓を行う。

- ◎【福岡都市圏】西瓜・梨・ぶどう高級フルーツギフト商品の開発・高級フルーツ店舗販促
- 【県内】西瓜・梨・ぶどう旬入りフェア(メディア・イベントPR・店舗販促)
- 【関西圏】梨市場キャンペーン(市場、メディアPR、店舗販促)



旬入りフェア(トップセールス)



店頭販促(高級フルーツ店)

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

⑤農商工観の連携・6次産業化への展開（ビジョンP31）

R4 ・ 企業と連携した商品開発【重点施策3】

⇒有名企業や生産部会、県農協等と連携した日田梨を使用した商品の開発並びに販売促進を行った。

◎R3年9月 カゴメ株式会社 「野菜生活100日田梨ミックス」 *R4 一時休止

◎R4年6月 アサヒ飲料株式会社 「三ツ矢にほんくだもの大分県産日田の梨」 *R4 販売開始

◎R5年8月 カゴメ株式会社「野菜生活100大分日田梨ミックス」 *R5 再販売

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 「おおいた日田の梨ソーダ」 *R1 販売開始、R4 再販売



⑥農産物の輸出に向けた取組（ビジョンP32）

R5 ・ 日田梨輸出促進事業（H21～）1,300【重点施策3】

⇒日田梨の海外輸出の拡大を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を中心に海外における販促活動や商談会等を行うことで日田梨ブランドの確立に取り組む。

◎輸出国 台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポール他

目標指標
の検証

指標名	R3実績	R4目標	R4実績	評価
梨輸出量(t)	102	127	126.5	△

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、80～99%で「△」、79%以下で「×」とした（以降同様）

【基本施策Ⅲ】元気に担い手を育てる

①担い手の明確化と農地の集約（ビジョンP33）

R4 ・ 「人・農地プラン」から「地域計画」へ

⇒基盤強化法の改正により、これまでの「人・農地プラン」に加え、10年後の目指すべき将来の農地利用の姿を描いた目標地図の作製等を追加し、農地の集約化に向けた取組の加速化を図った。

◎R4より大鶴地区、上・中津江地区をモデル地区として先行的に取り組んだ。

目標指標
の検証

指標名	R3実績	R4目標	R4実績	評価
担い手への 農地集積面積 (ha)	1,931	2,127	1,969	△



R5 ・ 地域計画策定に向けて

⇒R5年度意向調査アンケート実施地区

◎西大山・東大山・三芳・朝日・西有田・天瀬・前津江

②集落営農の育成・法人化（ビジョンP34）

R5 ・ 集落営農組織等農地保全活動支援事業 6,000

⇒集落営農組織が取り組む共同機械導入に対して支援することで、農作業受託の共同化・効率化に繋げ、農地保全と生産性の向上を図る。

◎2組織：コンバイン・トラクター他導入

目標指標
の検証

指標名	R3実績	R4目標	R4実績	評価
集落営農組織 法人数 (法人)	9	12	9	×



【基本施策Ⅲ】元気な担い手を育てる

③新規就農者や農業後継者の確保・育成（ビジョンP35）

R5 ・ 新規就農者総合支援事業（H24～） 34,500

⇒就農初期段階の青年農業者に対して支援を行い、早期の経営安定化と定着を図る。

◎給付金事業 継続対象者6組7名、R5新規採択者1組2名

・ ファーマーズスクール研修事業（H28～） 2,405

⇒市が推進する品目の栽培・経営技術を研修するファーマーズスクールの設置により、新規就農者の確保・育成を図る。

◎梨研修生 1名、チンゲンサイ研修生 1名



<大山えのきFS入校式>

・ 農業後継者育成支援事業（H28～） 8,200

⇒国の農業次世代人材投資資金の対象とならない親元で就農する農業後継者に対する給付金を給付するほか、青年農業者が行う研究会等の活動に対して補助を行うことで、農業後継者の育成を図る。

◎給付金事業 継続対象者2名、R5新規採択者6名

◎青年農業研究会への取組支援

⇒日田郡連によるポッドキャスト番組「ひた農らじお」がR3年12月よりスタート。

日田の農業の魅力を発信していく。



<郡連のラジオ収録>

目標指標
の検証

指標名	R3実績	R4目標	R4実績	評価
新規就農者数（人）	25	31	37	○

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

①生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新（ビジョンP37）

R4

・地域農業水利施設保全対策事業 7,843

⇒基幹水利施設保全対策事業とならない県営及び団体営造成施設の全ての農業水利施設についてストックマネジメントの考え方を適用し、効率的な施設機能の保全を行った。

・県営経営体育成基盤整備事業【重点施策4】

杉河内地区 5,538

◎事業期間：R1～R7 受益面積 12.1ha

令和4年度実績…区画整理一式、測量試験費一式、道路改良 L=170m

大肥地区 8,056

◎事業期間：H30～R5 受益面積 15.0ha

令和4年度実績…鳥獣柵一式、確定測量一式

R5

・農業体質強化基盤整備促進事業（松山地区）10,000

⇒近年多発する災害の影響を受け、水路内が埋塞し農業用水を通水できない状態であるため、農業用水路の改修を行い、安定した用水供給を図る。

◎事業内容：農業用排水施設の変更

・農業体質強化基盤整備促進事業（中山地区）8,000

⇒農地の区画整理を行うことで農作業の効率化及び管理の省力化を図り、農地の荒廃化の抑制を行う。

◎事業規模：A=0.12ha 事業内容：区画整理

・農地耕作条件改善事業（榑野地区）27,500

⇒農地・農業用施設の復旧と同時に区画整理を行い水田畑地化により日田市の主要作物である梨の作付を行い安定した農家所得の向上を図る。

◎総事業費：139,500 事業規模：A=2.1ha 事業内容：区画整理、水源ボーリング、用水施設

【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

②優良農地の保全と有効活用（ビジョンP38）

R4 • 集落戦略作成の取組（R2～） * 中山間地域等直接支払事業で実施

⇒協定農用地の将来像並びに協定農用地を含む集落全体の将来像、課題、対策について、協定参加者で話し合いのうえ作成する集落全体の指針となる「集落戦略」の作成を行った。

◎対象集落64集落すべて作成済

目標指標
の検証

指標名	R3実績	R4目標	R4実績	評価
多面的機能 支払交付面積（ha）	869	900	848	△



R5 • 中山間地域等直接支払い事業 112,235 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生防止や農地を保全するため、5年間の農地保全協定を締結した集落の活動を支援する。

◎事業期間 R2～R6（第5期）

◎集落協定数 108協定 対象面積 816.03ha

• 多面的機能支払交付金事業 29,484 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理の推進を図る。

◎取組組織 30組織 対象面積 850.03ha

（内 新規取組組織 小河内地区多面的保全組合 対象面積：2.88ha）

【基本施策Ⅴ】 やさしい農業を目指す

- ①安心・安全な環境保全型農業の推進（ビジョンP40）
- ②地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現（ビジョンP41）
- ③土壌診断・分析の実施（ビジョンP42）

R4 • 地域資源利活用推進事業 3,798 * 基本施策Ⅲ-②にも関連

⇒R4より、集落営農組織に加え、個人の農業者にも堆肥購入費補助の対象を広げるとともに、堆肥散布を行う集落営農組織に対して、堆肥散布機械の導入に要する経費の一部の支援を行った。

◎肥料購入（購入量：2,089 t、散布面積：95.1ha）

◎機械導入（マニュアルスプレッダ×2台）

• 耕畜連携に向けた講演会の開催 * 日田式循環型農業推進協議会で実施

⇒畜産農家・耕種農家向けに「良質な堆肥づくり」と「堆肥を活用した高品質な作物づくり」に関する講演会を開催し、耕畜連携による自然環境型農業の推進を図った。

◎講演会（「良質な堆肥づくり」（参加者：17名）、「高品質な作物づくり」（参加者：39名））
（「耕畜連携と循環型農業」2回開催（参加者：計49名））



R5 • 環境保全型農業直接払事業 (H28~) 1,500 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の支援を行う。

◎対象団体：（農）小野谷 レンゲ作付17.45ha

• 地域資源利活用推進事業 4,400

⇒耕畜連携による自然循環型農業推進のため、集落営農組織等が市内の畜産農家から堆肥を購入する経費を支援する。また、集落営農組織の堆肥散布機械の導入に要する経費を支援する。

◎ 堆肥購入（対象数量：2,400t 散布面積：120ha）、機械導入（堆肥散布機械×2台）

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

①美しい田園景観づくりの推進（ビジョンP43）

R4 • 「つなぐ棚田遺産」

⇒大分県農業・農村多面的機能シンポジウムにおいて、令和4年度優良活動組織表彰

◎月出町地域資源保全組合



②鳥獣害に強い集落づくりの推進（ビジョンP44）

R5 • カワウ被害防止対策事業（H22～）200 *基本施策Ⅰ-⑤にも関連

⇒食害被害防止のため、漁協の実施するカワウの捕獲活動等の経費の一部を補助し、アユ等主要水産資源の漁獲量向上及び遊漁者の増加を図る。

◎日田漁協…カワウ被害防止に向けた駆除・防除事業を支援。

R4実績：カワウ駆除数：232羽

• 有害鳥獣捕獲事業（H22～）46,382 *林業振興課事業

⇒有害鳥獣捕獲班員の捕獲に要する経費の一部等を負担することで捕獲活動意欲の向上による捕獲数の増加、農林作物被害の減少に繋げる。

◎R4実績：捕獲実績イノシシ 3,104頭 シカ 2,308頭ほか

• 鳥獣被害防止総合支援事業（H21～）5,123 *林業振興課事業

⇒有害鳥獣被害軽減のため、集落で防護柵を設置すること等に対し支援を行う。

◎R4実績：設置地区数4 設置延長8,059m

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

③グリーンツーリズムの推進（ビジョンP45）

R4 ・ 農家民泊の取組

⇒新型コロナウイルスが5類感染症へ移行後の宿泊受け入れのため、農家民宿経営者や農家民宿開業者予定者が、教育旅行の受入れや情報発信の手法についての研修会に参加した。

◎農家民宿開業者数 20軒（大山地区12軒、津江地区4軒、その他4軒）

R5 ・ 農家民泊の取組

⇒農業体験ができる農家民宿の魅力を発信し、受け入れ体制の強化を図る。

◎農家民宿開業者数 20軒（大山地区12軒、津江地区4軒、その他4軒）

◎先進地視察4回（農家民宿、推進団体、古民家再生、食）、研修会2回（メンバー研修会、シンポジウム主催）

④健やかな食生活の実現に向けた食育の推進（ビジョンP46）

R4 ・ 学校給食等への川魚の食材提供（H30～）803 *日田市内水面利活用推進事業で実施

⇒市内の養殖業者が生産する鮎・ヤマメを学校給食や調理実習の食材として提供し、川魚食文化を継承と興味の醸成に繋げた。

◎給食提供：天瀬・大山・津江地域の小中学校

◎調理実習：昭和学園高校調理科

・ 地産地消の取組 *学校給食課事業

◎地元の食材を学校給食に活用（米、梨、白菜、えのき、ピーマン等）

R5 ・ 料理教室への食材提供（R4～）

⇒食生活改善推進協議会をはじめ、様々な団体が行っている料理教室へ日田の川魚を食材として提供し、川魚の食材利用の普及を図る。

・ 地産地消の取組

◎「憩いの杜 やませみ」による農業体験（前津江小学校（5年生））

◎地元の食材を学校給食に活用（ゴボウ、なす、きゅうり、小松菜、ほうれん草、サニーレタス、大根、白菜など）

